（別記）

令和８年度宮古地方農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

宮古地方は、岩手県沿岸北部に位置し、沿岸部から北上高地までの多様な気象や地理的条件に応じた作物の生産等が行われている。平地が少なく、農地の集積・集約化が課題となっている。

水稲や園芸作物の生産、畜産等を組み合わせた複合経営が多く、米農家の割合が高い。

担い手農家の高齢化が進んでおり、農業人口の減少・農地の維持が課題となっている。

東日本大震災や平成 28 年台風第 10 号による被災から復旧した農地は、圃場の区画整備や集落営農、担い手への農地集積などの取り組みも行われている。

近年は、露地野菜や施設野菜の生産拡大が進んでいるほか、認定農業者や新規就農者などの経営体が個々に目標を掲げ、意欲的に経営を展開しており、担い手の確保及び作物生産の維持・拡大を推進し、水田の有効活用を図っていく必要がある。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

宮古地方は、夏はやませの影響を受けやすいものの、冬は日照時間が長く、温暖で乾燥した気候（夏冷涼、冬温暖）であり、周年出荷が可能である。この気象条件を活かし露地野菜（きゅうり、ブロッコリー、だいこん等）とハウス栽培（トマト、ピーマン、いちご、葉菜類等）を組み合わせた周年出荷体系を構築し、複合経営と多品目栽培による生産拡大・経営安定化を推進する。また、加工等により農産物の付加価値を高める６次産業化を推進し、収益性の向上や消費拡大に取り組んでいく。

また、地域内流通や肥料費・農薬費の削減、経営能力や栽培技術の高い担い手への農地集積の推進により、生産・流通コスト低減を図る。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

宮古地方は、土地利用型作物を中心とした水田農業が主体となっており、担い手となる農家が、飼料用米や WCS 等の新規需要米、大豆、高収益作物等の生産に取り組んでいる。

地域計画を踏まえながら、「水稲付作を中心とする地域」、「水稲と畑作物・高収益作物等のローテーション栽培を推進する地域」、「畑地化を推進する地域」等、各地域の状況に応じた水田の利用体系の構築を促進する。

畑地化促進事業の要望調査等により、状況を把握したうえで、畑地化する農地の排水性の改善や土づくり等について、関係機関・団体・地域と検討を行っていく。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

適地適品種の作付、低コスト生産、良質米の安定生産、地産地消、食育の５つを柱として、需要を先取りした売れる米づくりの推進に取り組むとともに、需要に応じた生産数量の確保、生産体制の維持、気象変化に対応した栽培技術の励行を図っていく。

当地方において、安定した生産体制を確立している「あきたこまち」、「ひとめぼれ」を中心に作付けを進めるほか、「銀河のしずく」について、高品質安定生産と推進体制の強化を図りながら、栽培適地での作付けを進めていく。

「白銀のひかり」については、今後の需要と地域での栽培状況等を踏まえながら、取組方針を検討していく。

学校給食センターへの安定供給体制の確立、維持等により、地産地消、食育を推進していく。

（２）備蓄米

契約数量に応じた生産に取り組む。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

転作作物の中心の一つとして、主食用米の需要、価格動向を踏まえながら、作付けを推進していく。

イ　米粉用米

今後の需要と地域での栽培状況を踏まえながら、取組方針を検討していく。

ウ　新市場開拓用米

今後の需要と地域での栽培状況を踏まえながら、取組方針を検討していく。

エ　WCS 用稲

転作作物の中心の一つとして、畜産農家との連携が可能な地域においては、主食用米の需要、価格動向を踏まえながら、作付けを推進していく。

オ　加工用米

今後の需要と地域での栽培状況を踏まえながら、取組方針を検討していく。

（４）麦類、大豆、飼料作物

「麦類」については、担い手農家を中心とした現状の作付けを維持しながら、今後の需要と地域での栽培状況を踏まえて、取組方針を検討していく。

「大豆」については、ＪＡ・地元産直・加工業者を供給先とし、産地交付金を活用して大規模な担い手農家を中心とした農地集積による作付拡大に取り組む。

また、排水対策の徹底、たい肥・石灰資材の施用、連作障害対策により生産の安定化・収量増に向けて取り組む。

「飼料作物」については、飼料自給率の向上を図るため畜産農家との連携を奨励するとともに、産地交付金を活用し、担い手農家への農地集積に取り組む。

（５）そば、なたね

地力の低い農地でも収穫が期待できる「そば」について、生産性の向上を図るとともに、畑作物の直接支払交付金及び水田活用の直接支払交付金により、作付面積の拡大を図り、安定供給できる体制づくりを推進する。

また、排水対策、地力の維持・改善により、品質向上・収量増に向けて取り組む。

「なたね」については、今後の需要と地域での栽培状況を踏まえながら、取組方針を検討していく。

（６）地力増進作物

ブロッコリー等の高収益作物の作付拡大及び収益向上を目的に、土づくり・減肥・輪作・連作障害対策のひとつとして、産地交付金を活用し、裏作での「エンバク」や「ライムギ」等の地力増進作物の作付に取り組んでいく。

（７）高収益作物

ア　野菜

　園芸作物の産地化に向け、宮古地方の気象条件を活かした露地野菜とハウス栽培を組み合わせた周年出荷体系の確立を図る。

　また、水田の活用方法に応じた排水対策により生産性の向上を図るほか、重点市場との連携強化や地元産直を活用した販売促進に向け、産地交付金を活用して、担い手への集積・作付拡大に取り組む。

「きゅうり」は、作型分化による収穫期間の分散化、「ピーマン」は、ハウス作型に加え、露地作型の普及を図る。

「ブロッコリー」は、新規就農者を中心に水田での作付けが拡大しており、排水性の良い圃場の選定、排水対策、輪作、石灰資材の施用、連作障害対策の実施により、生産の安定化を図りながら、関係団体と連携して、引き続き、生産拡大に取り組む。

「ねぎ、アスパラガス、さやいんげん、かぼちゃ」は、比較的取り組みやすい品目として広く推進する。

「しそ」は、地理的表示（ＧＩ）に登録された「川井赤しそ」について、既存の加工品原料向けの生産出荷体制を維持しながら、ブランド価値の向上による収益力の強化、生産数量・品質の安定化に取り組む。

【広域振興産地戦略作物】

　きゅうり、ピーマン、ブロッコリー、ほうれんそう、だいこん、わさび

【地域振興産地戦略作物】

　オクラ、アスパラガス、しそ、かぼちゃ、さやいんげん、さやえんどう、わらび、うど

【土地利用型作物】

　えだまめ、キャベツ、たまねぎ、にんじん、ねぎ、にんにく、ばれいしょ

イ　花き

　宮古地方の推進品目である花きについて、「りんどう」は、改植誘導及び水稲からの転作誘導により生産量の維持・増加を図り、「小菊」は、新規花き生産者への入門作物として生産拡大に取り組む。水稲からの転換時においては、排水対策により生産性の向上を図るほか、産地交付金を活用して、需要に合った生産や作付拡大に取り組む。

　それ以外の花きについても、産地交付金を活用して、農地の有効活用を図り、作付面積の維持・拡大に取り組む。

【広域振興産地戦略作物】

　りんどう、小菊

ウ　その他作物

　産地直売所で需要があり、振興作物である「小豆」について、高品質生産、単収向上に取り組むとともに、産地交付金を活用し、作付拡大を図る。

【地域振興産地戦略作物】

　小豆

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	415.0	0	415.0	0	415.0	0
備蓄米	0	0	0	0	0.0	0
飼料用米	8.5	0	7.2	0	7.2	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	19.6	0	15.0	0	15.0	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	0	0	0	0	0	0
大豆	27.7	0	25.8	0	25.8	0
飼料作物	78.5	0	88.3	0	88.3	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	0.6	0	0.6	0	0.6	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	28.0	0	31.4	0	31.4	0
・野菜	23.8	0	26.6	0	26.6	0
・花き・花木	2.6	0	2.9	0	2.9	0
・果樹	0.2	0	0.2	0	0.2	0
・その他の高収益作物	1.4	0	1.8	0	1.8	0
その他	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
畑地化	12.5	0	32.9	0	32.9	0

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	野菜、花き（基幹作） （別紙4のとおり）	広域振興産地戦略作物助成 （野菜、花き）	作付面積（ha）	（7年度）14.8	（８年度）20.0
2	野菜、その他作物（基幹作） （別紙4のとおり）	地域振興産地戦略作物助成 （野菜、その他作物）	作付面積（ha）	（7年度）5.1	（８年度）8.5
3	野菜、花き、果樹、雑穀、その他作物 （基幹作） （別紙4のとおり）	広域振興作物助成 （野菜、花き、果樹、雑穀、その他作物）	作付面積（ha）	（7年度）4.5	（８年度）8.5
4	野菜、その他作物（基幹作） （別紙4のとおり）	地域振興作物助成 （野菜、その他作物）	作付面積（ha）	（7年度）1.7	（８年度）2.5
5	飼料用米、そば、麦、大豆、飼料作物 （基幹作） （別紙4のとおり）	担い手集積助成 （飼料用米、そば、麦、大豆、飼料作物）	作付拡大面積 （単年度毎）（ha）	（7年度）2.9	（8年度）3.0
			対象作物における 集積率（%）	62.6%	64.2%
6	野菜、花き、果樹、雑穀、その他作物 （基幹作） （別紙4のとおり）	担い手集積助成 （野菜、花き、果樹、雑穀、その他作物）	作付拡大面積 （単年度毎）（ha）	（7年度）1.2	（８年度）2.0
			対象作物における 集積率（%）	33.4%	39.0%
7	そば（基幹作）	【国枠】そば振興作物助成	作付面積（ha）	（7年度）0.6	（８年度）1.5
8	地力増進作物（基幹作） （別紙4のとおり）	【国枠】地力増進作物作付助成	取組面積（ha）	（7年度）0.0	（８年度）1.2
9	野菜、花き、果樹、雑穀、その他作物 （基幹作） （別紙4のとおり）	作付拡大助成	作付拡大面積 （単年度毎）（ha）	（7年度）0.0	（８年度）1.2

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：岩手県

協議会名：宮古地方農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	広域振興産地戦略作物助成 （野菜、花き）	1	32,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
2	地域振興産地戦略作物助成 （野菜、その他作物）	1	27,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
3	広域振興作物助成 （野菜、花き、果樹、雑穀、その他作物）	1	25,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
4	地域振興作物助成 （野菜、その他作物）	1	20,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
5	担い手集積助成 （飼料用米、そば、麦、大豆、飼料作物）	1	5,000	別紙のとおり	集積面積に応じて支援
6	担い手集積助成 （野菜、花き、果樹、雑穀、その他作物）	1	5,000	別紙のとおり	集積面積に応じて支援
7	【国枠】そば振興作物助成	1	20,000	そば	作付面積に応じて支援
8	【国枠】地力増進作物作付助成	1	20,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
9	作付拡大助成	1	5,000	別紙のとおり	作付拡大した面積に応じて支援

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

（別紙4）

助成対象作物一覧

助成区分	分類	加算元	作物名
広域振興産地戦略作物助成 （野菜、花き） （整理番号1）	野菜類（重点品目）	―	きゅうり、ピーマン、ブロッコリー
		―	ほうれんそう、だいこん
	（山菜）	―	わさび
	花き	―	りんどう、小菊
地域振興産地戦略作物助成 （野菜、その他作物） （整理番号2）	野菜類	―	オクラ、アスパラガス、しそ、かぼちゃ、さやいんげん、さやえんどう
	（山菜）	―	わらび、うど
	その他作物	―	小豆
広域振興作物助成 （野菜、花き、果樹、雑穀 その他作物） （整理番号3）	野菜類	―	トマト、いちご、かんしょ（サツマイモ）、白菜、レタス、春菊、小松菜、菜花（なばな）
	（山菜）	―	ふき、うるい、たらのめ、行者にんにく
	（きのこ）	―	しいたけ、まいたけ
	花き	―	きく、ゆり、ひまわり、トルコキキョウ、アスター、アルストロメリア、アリウム、オミナエシ キンギョソウ、グラジオラス、スターチス（リモニウム）、ストック、ゼラニウム、デルフィニウム マリーゴールド、パンジー、ビオラ、葉ボタン、カレンデュラ（キンセンカ）
	果樹	―	やまぶどう、ブルーベリー、さくらんぼ、ぶどう
	雑穀類	―	きび、あわ、ひえ、モロコシ、アマランサス、えごま
	その他作物	―	葉たばこ
地域振興作物助成 （野菜、その他作物） （整理番号4）	野菜類	―	里芋、菊芋、長芋、未成熟とうもろこし（トウモロコシ）、すいか、メロン、なす、夕顔 ささげ、とうがらし（なんばん）、にら、ハーブ、みょうが、みつば、食用菊、かぶ、ズッキーニ
	その他作物	―	金時豆、黒平豆
担い手集積助成 （飼料用米、そば、麦 大豆、飼料作物） （整理番号5）	飼料用米	（国）	飼料用米、WCS用稲
	麦、大豆	（国）	麦、大豆
	そば	（7）	そば
	飼料作物	（国）	青刈りトウモロコシ、ソルガム、永年性牧草、イタリアンライグラス、オーチャードグラス チモシー、クローバー、青刈りハトムギ、子実用ハトムギ
担い手集積助成 （野菜、花き、果樹、雑穀 その他作物） （整理番号6）	野菜類	（1）	きゅうり、ピーマン、ブロッコリー
			ほうれんそう、だいこん
		（2）	オクラ、アスパラガス、しそ、かぼちゃ、さやいんげん、さやえんどう
		（3）	トマト、いちご、かんしょ（サツマイモ）、白菜、レタス、春菊、小松菜、菜花（なばな）
		（4）	里芋、菊芋、長芋、未成熟とうもろこし（トウモロコシ）、すいか、メロン、なす、夕顔 ささげ、とうがらし（なんばん）、にら、ハーブ、みょうが、みつば、食用菊、かぶ、ズッキーニ
		（県）	えだまめ、キャベツ、たまねぎ、にんじん、ねぎ、にんにく、ばれいしょ（ジャガイモ）
	（山菜）	（1）	わさび
		（2）	わらび、うど
		（3）	ふき、うるい、たらのめ、行者にんにく
	（きのこ）	（3）	しいたけ、まいたけ
	花き	（1）	りんどう、小菊
		（3）	きく、ゆり、ひまわり、トルコキキョウ、アスター、アルストロメリア、アリウム、オミナエシ キンギョソウ、グラジオラス、スターチス（リモニウム）、ストック、ゼラニウム、デルフィニウム マリーゴールド、パンジー、ビオラ、葉ボタン、カレンデュラ（キンセンカ）
	果樹	（3）	やまぶどう、ブルーベリー、さくらんぼ、ぶどう
	雑穀	（3）	きび、あわ、ひえ、モロコシ、アマランサス、えごま
	その他作物	（2）	小豆
		（3）	葉たばこ
		（4）	金時豆、黒平豆
そば振興作物助成 （整理番号7）	そば	―	そば
地力増進作物作付助成 （整理番号8）	地力増進作物	―	ソルガム、エンバク、ライムギ、イタリアンライグラス、ヘアリーベッチ、レンゲ クリムソンクローバ、アカクローバ、クロタラリア、ヒマワリ、マリーゴールド、シロガラシ ナタネ、カラシナ、ハゼリソウ、緑肥大豆、緑肥大根
作付拡大助成 （整理番号9）	野菜類	（1）	ブロッコリー
			だいこん
		（2）	オクラ、アスパラガス、しそ、かぼちゃ、さやいんげん、さやえんどう
		（3）	いちご、かんしょ（サツマイモ）、はくさい、春菊、小松菜、菜花（なばな）
	（山菜）	（1）	わさび
		（2）	わらび、うど
		（3）	ふき、うるい、たらのめ、行者にんにく
	（きのこ）	（3）	しいたけ、まいたけ
	花き	（3）	きく、ゆり、ひまわり、トルコキキョウ、アスター、アルストロメリア、アリウム、オミナエシ キンギョソウ、グラジオラス、スターチス（リモニウム）、ストック、ゼラニウム、デルフィニウム マリーゴールド、パンジー、ビオラ、葉ボタン、カレンデュラ（キンセンカ）
	果樹	（3）	やまぶどう、ブルーベリー、さくらんぼ、ぶどう
	雑穀	（3）	きび、あわ、ひえ、モロコシ、アマランサス、えごま
	その他作物	（2）	小豆
		（3）	葉たばこ

※県枠メニュー 土地利用型助成 ： えだまめ、キャベツ、たまねぎ、にんじん、ねぎ、にんにく、ばれいしょ（ジャガイモ）

県枠メニュー作付拡大助成 ： ① 園芸作物（えだまめ、キャベツ、たまねぎ、にんじん、ねぎ、にんにく、ばれいしょ（ジャガイモ）、レタス、きゅうり
：トマト、なす、ピーマン、ズッキーニ、ほうれんそう、りんどう、きく類（小菊他）） ※ 30a以上・30a未満で別単価
② 麦、大豆、③ 飼料用とうもろこし

県枠メニュー 麦・大豆地力向上助成 ： 麦、大豆（畑作物の直接支払交付金申請者が土壌診断に基づき施肥・土壌改良資材を施用した場合）